



十勝組だより

正見・正思维

新型コロナウイルス感染症対策 特集 対策ガイドライン 【保存版】

十勝組では、去る三月二十七日、実践運動十勝組委員会の常任委員会が開かれました。その中で新型コロナウイルス感染症の現状、二〇二一年度の各部活動について、いかなる事が可能なかを検討しています。

新型コロナウイルス感染症の実態が見えない昨年度は、寺院活動の基軸となる法座・法要ならびに組の大会や研修会などが、ほぼ全面的に中止・延期に追い込まれてきました。今年度も、当面は現在進行中のワクチン接種が一定の成果を収める頃まで、同様な状況が続く可能性が大了。

しかしながら、このような中であっても各寺院における取り組み（消毒、マスク、三密回避など）によって、北海道教区では法座・法要を根拠とした感染やクラスターが一件も発生していません。（確認：四月七日教務所）
常任委員会でも審議されましたが、「大会」など大人数の開催は未だ無理としても、一方で二〇人程度の「僧侶研修」などは、リモートオンラインを併用し実施が可能でした。今後は各防止対策を施しながら、その狭間にある価値（しきいち）を高めていく必要があります。

たとえば、帯広別院本堂は正面だけで二〇畳あり、二メートル間隔を保ち、夏場における窓扉の開放、一日開催を半日に短縮するなどの知恵を絞れば、六〇人程度（寺院数六割、二〇三名の出席）の総会・研修会は可能となるでしょう。

まずは、必要以上に怖れるのではなく、各寺院の法座・法要の常態を回復するための「ガイドライン」を把握し、組内すべての寺院が行動することを目指します。私たちが寺院を「保存版」としてお届けします。

第 4 0 号
(特集号)

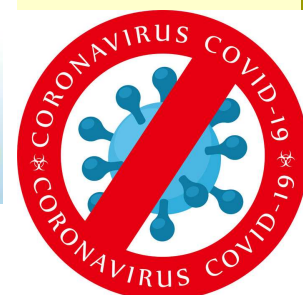
2021年
5月1日発行

発行：
十勝組長事務所
大樹町・光教寺内
(浄土真宗本願寺派)

発行人：
岩崎 教之
編集：
十勝組伝道広報部

新型コロナウイルスの状況を正しく知るために

偏見やデマに惑わされない一人となる



現在、各宗派の寺院関係にあって、さまざまなマニュアルが文書化されています。

寺院活動の基本となる「本願寺派」と「大谷派」のガイドラインをまとめました。

丁寧に考える新型コロナ

(光文社新書) 岩田健太郎
二〇二〇年一月一日／光文社／新書
ISBN: 9784334044992 一〇五六円(税込)



コロナと生きる

(朝日新書) 内田樹
二〇二〇年九月一日
朝日新聞出版／新書 783
ISBN: 9784022950895
八九一円(税込)



専門医が教える 新型コロナ・感染症の本当の話

(幻冬舎新書) 忽那 賢志
二〇二一年三月三日
幻冬舎／新書
ISBN: 9784344986138
九九〇円(税込)



理論疫学者・西浦博の挑戦
ー新型コロナからいのちを守れ！

(単行本) 西浦博
川端 裕人
二〇二〇年二月九日
中央公論新社／単行本
ISBN: 9784120053597
一七六〇円(税込)



法事・法要 勤修のための留意点 (ガイドライン)

- ◎ 「3つの密」(密閉・密集・密接)を避け、
- ◎ 基本的な感染対策を徹底し、
ともに仏さまのお話を聞かせていただきますよう

「つながりの中で生きている」ことに気づかされる尊い仏縁。
受け継がれてきたこのいのち
そして他の人のいのちを大切にするために、
法事・法要をおつとめするときは、
基本的な感染対策を十分に行いましょう。

感染予防の基本

◎ **体調管理**
毎日、体温を計測
体調を整える

◎ **手洗い・消毒**
丁寧な手洗い
共有物も消毒

◎ **飛沫防止**
マスクを着用

◎ **席配置の工夫**
できるだけ2m(最低
1m) 間隔を空ける

◎ **こまめな換気**
1時間に2回以上
空気を入れ換え

◎ **密接を避ける**
会話のときは
正面に立たない

- ◎ 飲食(お斎・茶菓など)のときは感染リスクが高まるため、
特に注意しましょう
- ◎ 感染拡大地域への移動、感染拡大地域からの移動には、
十分注意しましょう

※本ガイドラインは、「新しい生活様式」の実践例として、法事・法要を勤めるにあたっての基本的な感染症対策を記載したもので、緊急事態宣言の発令や各都道府県における発令がある場合はこの限りではありません。その際には、お斎接待や集合しての法事・法要そのものについても、行政の指示に従ってご判断ください。

※新型コロナウイルス感染症対策に関する詳しい情報は、厚生労働省や日本赤十字社などのHPをご参照ください。

いま 私にできること
私のいのちを 大切にすること
他の人の いのちを 大切にすること

浄土真宗本願寺派(西本願寺)

僧侶のみなさまへ

門信徒のみなさまが、法事・法要を安心しておつとめできるよう、

**「3つの密」(密閉・密集・密接)を避け、
距離の確保、マスク着用、手洗い・消毒など、
基本的な感染対策を徹底します**

私たちにできること —お寺でおつとめするために—

◎堂内は

- ・複数の人が触れる手すり・椅子・ドア・テーブルなどを消毒します。
- ・できるだけ2m（最低1m）空けて席を配置し、十分換気します。
- ・消毒剤を入りに置きます。

◎読経中は

- ・マスクを着用します。
 - ・マスクをはずす場合は、十分な距離を確保します。
- ※出勤者が多いときは余間や外陣も活用し、十分な距離を確保します。

◎法話のときは

参拝者と対面になる場合は、特に注意して下さい。

- ・飛沫を防ぐ対策を徹底します。
- (例) 距離の確保
マスクの着用
フェイスガードの着用
飛沫防止板の設置
マイクの活用など

◎茶菓・お斎^{とき}のときは

- 飲食は感染リスクが高まります。大人数や長時間の飲食、マスク無しでの会話、大きな声での会話などは特に注意して下さい。
- ・茶菓は個別包装されたものを用意します。料理などは個別に配膳、または持ち帰りにします。
 - ・コップや食器等は共有せず、使い捨てにしたりします。

◎地域の感染症の流行状況を確認し、参拝者を把握（記録）します。

◎発熱などがある場合は、参拝をお断りすることも必要です。

◎僧侶や寺族自身の健康管理にも十分配慮して下さい。

工夫をこらし 安心できるお参りを



雪見障子をひっくり返し、ガラス板を上

(実践例)
法話台に
透明な衝立を設置

アクリル板
パーテーション



下部を固定し、布などで覆います

私たちにできること —門信徒宅でおつとめするために—

◎仏間では

- ・僧侶と門信徒の間隔をできるだけ2m（最低1m）空けて席を配置します。
- ・十分換気いただくよう促します。

◎読経中は

- ・マスクを着用します。
- ・門信徒の方にも、マスクを着用していただくよう促します。
- ・マスクをはずす場合は、十分な距離を確保します。

◎法話のときは

門信徒と対面になる場合は、
特に注意して下さい。

- ・距離の確保、マスクやフェイスガードの着用など、飛沫を防ぐ対策を徹底して行います。

- ◎門信徒宅に入る前には、携帯用消毒液などで十分に消毒します。
- ◎飲食(茶菓など)は感染リスクが高まるため、特に注意して下さい。
- ◎持病などによりマスクの着用が難しい方がいらっしゃることに留意して、感染対策を行って下さい。

※お参りから2週間以内に、僧侶または門信徒の新型コロナウイルス感染症発症が確認された場合は、保健所等の指示に従って対応してください。

※コロナ禍のなか、離れてお住いのご家族やご親戚が集まる法事の開催は難しい状況ですが、少しでもご法事のご縁にあっていただけるよう、インターネットなどを活用した法事もご検討ください。

念仏者として

～感染対策を徹底し、おみのりを伝える～

新型コロナウイルス感染拡大の原因は、人との接触であるとされます。感染拡大が続き、法事・法要をおつとめするにあたって不安が大きい今だからこそ、仏教の説く「つながり」の大切さに気づき、「生や死を超えていく道」があることを人々に伝えていかなければなりません。私たち僧侶一人ひとりが感染対策を徹底し、おみのりを伝えてまいりましょう。

**いま 私にできること
私のいのちを 大切にすること
他の人の いのちを 大切にすること**

浄土真宗本願寺派(西本願寺)

新型コロナウイルス感染症に関する 寺院・教会ガイドライン

2020年 12 月21日版 真宗大谷派 (東本願寺)

はじめに

本ガイドラインは、「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」をはじめとする政府の対処方針を踏まえて、寺院・教会等において、ご門徒や地域等への感染防止に努めつつ、寺院活動を継続するための感染防止の考え方や例示等を取りまとめたものです。

新型コロナウイルスを正しく理解し、感染予防の工夫を行いながら聴聞の場を開いていきましょう。

感染防止基本ルール

新型コロナウイルスの感染経路は、飛沫感染と接触感染の2つが考えられています。いわゆる三密（密閉・密集・密接）の回避、マスクの着用、咳エチケットを心がけるなど個々の取り組みで感染を未然に防ぐことも可能です。自身のみならず、他人への感染を回避するとともに、他人に感染させないように対策を徹底することが必要です。

- ① 三密（密閉・密集・密接）を避ける行動を心がけましょう。
- ② 法要・行事前には換気を行い、日程中も定期的な換気（1時間に1～2回を目安）を行いましょう。
- ③ マスクの着用を徹底しましょう。特に咳やくしゃみなどをする際は、周囲の人への配慮を心がけましょう。
- ④ 日頃から体調管理を行い、発熱や体調が優れない場合の法座や会合への出席は控えましょう。
- ⑤ 手洗いや手指の消毒を徹底しましょう。
- ⑥ 日程終了後は、人が触れた箇所や物への消毒を行いましょう。

WHO及び国立感染症研究所では、コロナウイルスが自然放置の状態では滅菌されるまでの時間は72時間とされています。消毒が行えない場合は、施設の連続使用を避けるのも有効です。

- ⑦ 年齢や体調等により、新型コロナウイルス感染に強い不安を感じる方もいます。一人ひとりが思いやりを持った行動をとるように心がけましょう。



《厚生労働省 HP : 「国民の皆さまへ（新型コロナウイルス感染症）」》

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00094.html



1. 寺院・教会における仏事・行事等の事前準備について

寺院には多くの方々が入り出されます。三密（密閉・密集・密接）を避ける工夫を行い、ご門徒の方々と共に感染対策を行いましょう。

- ① 参拝者（参加者）に対して、以下の項目について事前の案内をしましょう。また、案内状には感染対策を実施していることを明記するなど、参拝される方が不安を覚えな
いよう配慮を心がけましょう。
 - ・マスクの着用をお願いします。
 - ・体温測定をお願いします。
 - ※発熱や体調の優れない場合はお参り（参加）をお控えください。
 - ・定期的な換気を行いますので、体温の調整ができる服装でご参加ください。
 - ・念珠、勤行本、ハンカチ等をご持参ください。
- ② 入口や受付、洗面所等にアルコール消毒を準備しましょう。
- ③ 受付を設置する場合は、通気の良い場所に設置するなどの対策を行い、必要に応じて
非接触型の検温計による検温を行いましょう。
- ④ 椅子を準備し、人と人との間隔を1～2メートル程度確保できるように工夫しまし
ょう。椅子がない場合は、座布団や畳（床）に目印するなど、人と人との間隔を保ちま
しょう。
- ⑤ トイレや洗面台のタオルは使用せず、ペーパータオルを準備しましょう。
- ⑥ 喫煙所・休憩室などは一度に利用できる人数を制限するなど、密とならないよう
な工夫をしましょう。
- ⑦ 法話や感話の際、演台にパーテーション（写真①）を設置することも飛沫対策として
有効です。既製品の外、比較的安価に自作することも可能です。
- ⑧ 急な体調不良者に対応できるよう個室を用意しましょう。
- ⑨ 不特定多数の方が集う仏事・行事においては参加者の連絡先を控えましょう。（以下、
「参加者連絡先記入表」参照）

〔写真①〕パーテーション例



〔参加者連絡先記入表〕

●●寺 参加者連絡先記入表

お名前： _____

日 時： _____ 年 ____ 月 ____ 日

連絡先： _____

◆個人情報の取り扱いについて

※お預かりした個人情報は、新型コロナウイルス感染症拡大防止
を目的として使用し、適切に管理します。

※必要に応じて保健所等の公的機関へ提供する場合がございます。
行政機関以外の第三者へ開示は致しません。

※ 感染対策として、啓発ポスターの掲示なども有効です。各地方自治体において無料素材（ポスターやピクト）がダウンロードいただけますのでご活用ください。



《参考》

◆簡易パーティションの作り方

《参考：ホームセンター コメリ HP》

<https://www.komeri.com/howto/html/05240.html>



《参考：文具の奥深い魅力を伝える Web マガジン 文具のとびら》

<https://www.buntobi.com/articles/entry/stationery/011562/>



◆各自治体における無料素材（ポスター・ピクト）

《大阪府堺市 HP》

<https://www.city.sakai.lg.jp/smph/kenko/kenko/kansensho/kansensho/corona/sakai-style/pict.html>



《大阪府門真市 HP》

https://www.city.kadoma.osaka.jp/kinkyu_2/12490.html



2. 法要について

報恩講をはじめとする法要を、それぞれの地域の状況に応じて安心して参拝できる環境を整え、お勤めしましょう。

- ① 人と人との間隔を空けて着座しましょう。
- ② 勤行・読経中は、できるだけマスクを着用しましょう。マスクをとる場合は、参拝者と十分な間隔を確保しましょう。（写真②）
- ③ 法話や感話も、できるだけマスクを着用しましょう。マスクをとる場合は、参拝者と十分な間隔を確保しましょう。パーテーションの設置も飛沫対策として有効です。
- ④ 焼香の際もできるだけ間隔をあけ、密にならないように注意しましょう。
- ⑤ 日程が長時間とならないよう、日程短縮に努めましょう。

〔写真②〕 マスク着用でのお勤めの様子



3. 通夜・葬儀について

通夜・葬儀はご門徒に限らず、地域の多くの方々が弔問に来られます。特に葬儀はご遺族、地域の方々にとっても大切な場がありますので、感染対策については、ご遺族とも十分ご相談をした上で実施しましょう。

- ① 受付など混雑が予想される時間は、受付時間を十分に確保するなど弔問者の密を避けるようご案内をしましょう。
- ② 焼香時は動線（一方通行など）を定めることも有効です。
- ③ 新型コロナウイルスの感染によって亡くなられた方の通夜・葬儀の執行にあたっては、政府の方針（下記 URL 参照）を踏まえた上で医療機関や葬祭場との連携をし、感染防止のための衛生対策に努めてください。

《厚生労働省 HP：「新型コロナウイルスに関する Q&A（関連業種向け）」》
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/covid19_qa_kanrenkigyoku.html#Q2-2



4. 門徒宅での法務について

門徒宅など寺院以外の会場で法要を勤める場合も、十分な感染対策を実施しましょう。特に門徒宅を会場とする場合は、生活空間であるということを念頭に感染対策を徹底しましょう。

- ① 特にご門徒宅での法要を勤める際は、ご門徒が不安にならないような配慮が必要です。マスクの着用や手指の消毒など感染対策を徹底しましょう。
この際、写真の様な携帯用の除菌スプレーをご用意いただくと便利です。



（参考）

- ② お勤めの際には、ご門徒のご家族にもマスクを着用していただくようお願いしましょう。また可能な限り人と人との間隔を保つよう心がけましょう。
- ※ 感染対策を実施していることをお知らせするだけでもご門徒のご家族は安心されます。訪問の際、必要に応じて以下のようなチラシをお配りするなどの工夫をしましょう。

真宗大谷派からご門徒の皆様へのお願い

真宗大谷派では、新型コロナウイルス感染防止を目的に以下の対策を実施しております。

- ① 僧侶は手指の消毒を実施しマスクを着用しています。
- ② お参りされる皆様もマスクの着用をお願いいたします。
- ③ お勤めの前後は換気をお願いします。

皆様お一人おひとりのご理解とご協力をお願いいたします。

真宗大谷派（東本願寺）

5. 法話会・研修会の開催について

法話会や研修会は、私たち真宗門徒にとっても大切な聞法場です。新しい生活様式のもと、オンラインを活用した研修会や法話の配信などの取り組みも進んでいます。しんらん交流館ホームページでは、寺報の発行支援やコロナ影響下での様々な教化活動の報告を行っています。

- ① 法話会をするときは講師と参加者との間に十分な間隔を持ちましょう。飛沫感染予防としてアクリル板等の設置も有効です。
- ② 意見交換や座談会を行うときは少人数の班編成とし、可能な限り会場を分けるなどの対策を行いましょう。
- ③ 公共交通機関を利用する参加者を考慮し、ラッシュ時を避けるよう開催日時を配慮しましょう。
- ④ オンラインを活用した法話会や研修会の開催も有効です。宗派や各教区においてはオンラインを活用した様々な取り組みを行っていますので、参考にしましょう。

《各種サイト集》

◆法話	
しんらん交流館 HP 「いま、あなたに届けたい法話」 https://jodo-shinshu.info/ima_howa/	
しんらん交流館 HP 「子どもたちと聞く法話」 https://jodo-shinshu.info/oshienifureru_entry/child_howa/	
真宗会館 日曜礼拝オンライン法話 https://www.youtube.com/channel/UCsRSjpScjJ338J2rOT3pgTw	
高岡教区 WEB法話 https://www.youtube.com/channel/UCYtMYoSimQTyRWf1GZRxzJQ	
大阪教区 大阪教区チャンネル「法話をいただく」 https://www.youtube.com/channel/UCSIIIDWnlciFnR9YwJftRHFg	
名古屋教区 インターネット法話 https://www.ohigashi.net/news/webhouwa/	

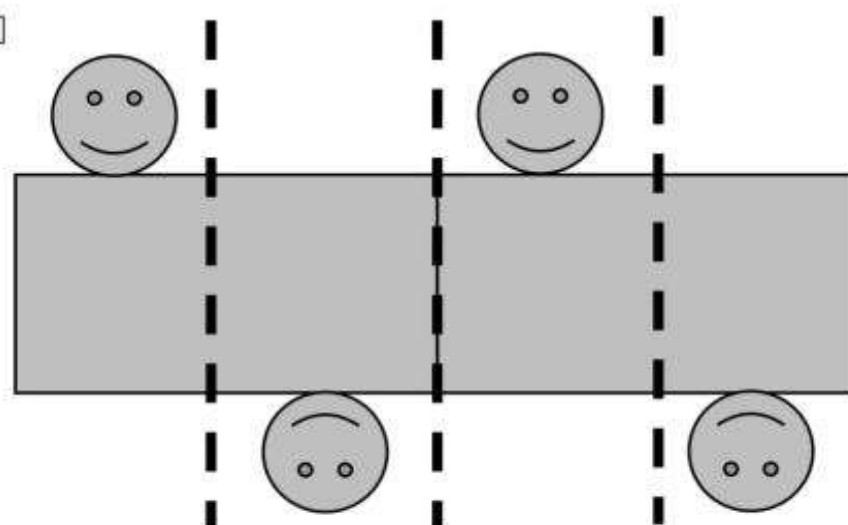
◆オンライン研修	
東京教区 HP 「はじめての“オンライン法座”「Zoom 用オンラインマニュアル（主催者編・参加者編）」 http://www.ji-n.net/index.cgi	
◆寺報作成	
しんらん交流館 HP 「寺報の作成について」 https://jodo-shinshu.info/wp-content/themes/shinran/jiho/index.html	
◆コロナ禍での教化活動及び調査報告	
しんらん交流館 HP 「コロナ影響下での教化活動レポート」 https://jodo-shinshu.info/category/covid-19/	

6. お齋や会食について

お齋や会食はマスクを外す機会が増えるため、飛沫による感染リスクが高まります。行う場合は、以下の点に十分注意を払い感染防止に努めましょう。

- ① 対面とならない様、座席に配慮しましょう。（以下、〔座席配置例〕参照）
- ② 食事はお弁当など個々に配膳できるものが望ましいです。大皿料理など複数人で共有する料理はとりわけ用の箸を使用しましょう。
- ③ 大きな声での会話は控えるよう注意を促しましょう。
- ④ 長時間の会食は控えましょう。

〔座席配置例〕



※ この際、点線位置にパーティションを設置すると、感染リスクを更に軽減することが可能です。

7. 寺族及び門徒の感染が判明した場合

新型コロナウイルスの感染が確認された場合、医療機関から所轄の保健所（感染者が居住する自治体によって管轄の保健所が異なります）へ連絡が入り、保健所から感染者本人へ連絡が入ります。

寺族及び門徒等の寺院関係者への感染が確認された場合は、以下の手順に沿って対応ください。

- ① 陽性が確認された場合、医療機関から所轄の保健所へ、もしくは保健所から陽性者本人に連絡が入りますので、過去の行動履歴を報告いただき、ご家族等の周囲の方が濃厚接触者にあたるか否かについての判断を仰いでください。
 - ※ 濃厚接触者と判定された場合は、保健所の指導のもと、PCR検査（無償）を受検ください。（濃厚接触者と判断されない場合は、無償によるPCR検査は実施されない場合があります。詳細は所轄の保健所へお問い合わせください）
 - ※ 施設の消毒などは、保健所の指示に従ってください。
- ② 過去の行動履歴（発症日より前2日間を基本とする）の内、寺院の法要及び行事に参加をされている場合は、参加者に対して通知を行い、「家庭内での注意事項」（下記URL参照）を参照の上、体調の変化を注視するよう伝達してください。
- ③ 上記において不明、ご心配の方は所轄の保健所又は各都道府県の帰国者・接触者相談センター（下記URL参照）にお問い合わせください。

新型コロナウイルスの感染が疑われる人がいる場合の家庭内での注意事項（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/newpage_00009.html



新型コロナウイルスに関する帰国者・接触者相談センター

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19-kikokusyasessyokusya.html



本願寺派・大谷派の「ガイドライン」を特集で掲載しました。

いま寺院にできることは、感染防止対策をとりながら
次世代に繋げていくための方策を考えていくことです。
お念仏の相続という現実と真摯に向き合う時間となります。
伝道広報部